

経済倶楽部便り

◆東京◆ 10月2日に懇親ゴルフ「青空会」を

昨年同様、相模原ゴルフクラブで行いました。

前日まで台風24号の首都圏接近で開催が危ぶまれましたが、当日は台風一過の文字通り秋晴れ。

コースを区切る巨木の枝や幹が折れているのを目にしながらも、参加者11名は気持ちよくプレーすることが出来ました。「青空会」の歴史は1969年8月が第1回でした。参加申し込みは63名と多く、時代の変化を感じます。当時は年に数回開催しており、最近そうした希望者もおられるので検討課題にしたいと思います。

9月の入会者は上原弘久氏・T&Dホールデ

イングス社長、副島直樹・太陽生命保険副社長、(公財)高橋松之助記念顕彰財団の上瀧博正氏、山田守夫氏、遠矢厚久氏の各氏です。

12月の講師は大櫛陽一・東海大学医学部名誉教授、嶋中雄二・三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所長、寺島実郎・(一財)日本総合研究所会長を予定しています。

◆中部◆ 10月の講師としてお呼びした雑誌記者の歳川隆雄氏は、初旬に10日ほど米国ワシントンを回った様子を話されました。印象深かったのは現地の日本メディアは類似したテレビや新聞を見て記事を書くことが多く、内容が片方に偏る傾向が強いと話されたことでした。

12月の講師は柯隆・東京財団研究員、真壁昭夫・法政大学大学院教授です。(日暮良一)